事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスしずく	**支援プログラム**	作成日	7 年	2 月	25 日

法人（事業所）理念		児童が安全に楽しく過ごし、個々の力を発揮できるよう活動や体験を提供します。家族や学校、他事業所と連携しながら児童が地域で安心して暮らせるよう支援します。
支援方針		児童にとって安心・安全な環境を整え、しずくに来て楽しい活動ができるように支援していきます。 個々の力を伸ばしていけるように各専門職が力を合わせ、療育やリハビリプログラムを提供していきます。 児童とのコミュニケーションを大事にし、スタッフやお友達との関わりができるように活動の場を提供していきます。
営業時間		9 時　30 分から　18 時　30 分まで　　送迎実施の有無：（あり）　なし　　送迎範囲は相談になります。
		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	児童が心身ともにリラックスし、安心・安全で過ごすことができる環境を整えていきます。 体調に留意しながら、しずくにきてたくさんの体験や経験をし、児童や職員が「楽しい！」と感じる活動を実施していきます。 支援内容　バイタルチェック、必要な医療的ケア、入浴、食事介助、排泄、療育、リハビリ、屋外活動
	運動・感覚	療育では５感を使うことをを大事にし、持っている力を最大限に発揮し伸ばしていける活動を実施していきます。 リハビリでは日常生活において安心して過ごせるよう、個々に合わせた運動プログラムを実施していきます。遊びや療育がリハビリに繋がるような支援をしていきます。 屋外活動も積極的に行い、四季を感じるイベントを実施、遊具遊び等で様々な体験ができるよう支援していきます。 支援内容　療育活動、リハビリ、屋外活動
	認知・行動	絵カードやブロック遊び等を用いて物の色やカタチを認識していくように促していきます。見通しがもちやすいように日々の予定は始まりの会にて共有していきます。 児童の好きな遊びを見つけ、興味をもつものが増えていくように様々な遊びをスタッフと一緒に実施します。楽しいことや興味のあることを見つけたら家族に共有していきます。 支援内容 絵カードやブロック等を用いた遊び、好きなものや遊びを見つけその子自身を広げていく。
	言語 コミュニケーション	普段から児童との会話を大事にし、児童が理解しやすい方法で伝え、何を伝えたいのか汲み取り、コミュニケーションが円滑にできるように支援していきます。 自分の気持ちが相手に伝わるようその子にあったコミュニケーション方法を支援し、家庭や学校、関連事業所と統一したコミュニケーションを行います。 支援内容　日常的な会話、絵カード等ツールを使用したコミュニケーション、家庭や学校と統一したコミュニケーション
	人間関係 社会性	お友達やスタッフとの関わりができるよう、輪に入って楽しい雰囲気の中で集団活動を実施していきます。 スタッフが間に入って児童同士が一緒に遊ぶことができる活動を提供していきます。その中で児童がお友達と関わる機会を少しずつ増やしていきます。 集団活動の中で人間関係を作っていけるようにサポートしていきます。 支援内容 集団活動、遊びの中での人間関係の構築
家族支援		家庭での様子を聴取し、必要な支援や方法を取り入れていきます。 できるようになったことや新たな一面は小さなことでも共有していきます。 ご家族との話しの中で、困っている事、要望等は可能な限り取り入れます。 支援内容　ご家族とのコミュニケーション、施設での様子を情報共有
移行支援		移行がスムーズにいくよう関連事業所での支援の様子を見学させていただき、統一した情報共有を行うようにしております。また、スムーズな情報共有ができるよう他事業所との関係性構築を心がけています。 支援内容　他事業所との連携、統一した支援に向けた情報共有
地域支援・地域連携		地域のイベントへの参加、他にも社会の関わりをもてるよう外出イベントを行っております。また同じ施設のお友達以外の関わりをもてるように法人内の事業所と合同イベントを実施しております。 支援内容　屋外イベントの実施、地域イベントへの参加
職員の質の向上		毎日のミーティングで児童についての情報共有、各専門職からの意見を取り入れながら支援内容を決定しております。勉強会は研修会への参加や内部伝達講習をしております。他事業所との見学を積極的に行い様々な視点から支援できるようにしおります。 内容 ミーティング、研修会・勉強会へ参加、他事業所との情報共有
主な行事等		月ごとの行事に合わせた療育、屋外活動、クッキング、お誕生日会、災害・避難訓練 等